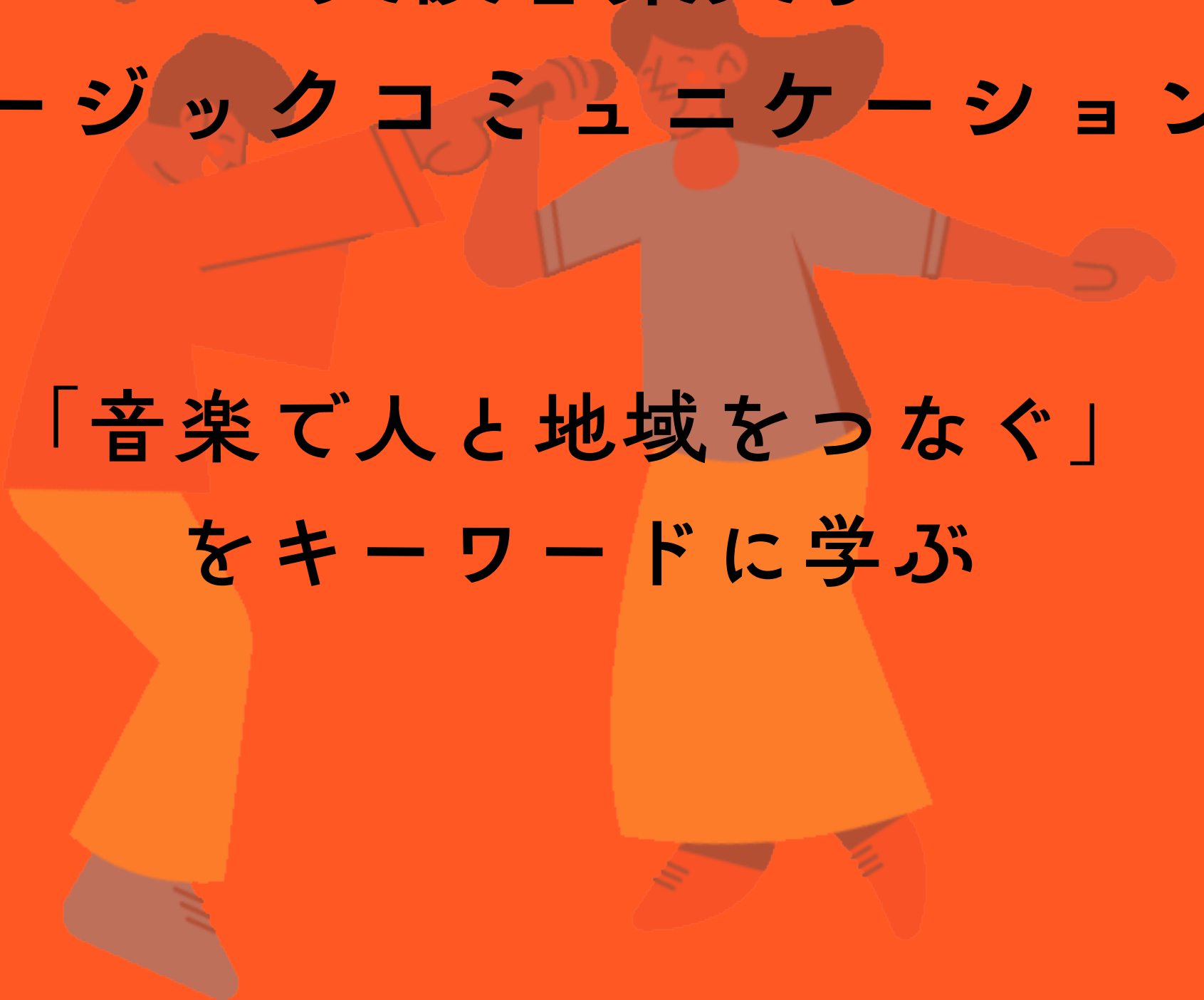


SHONAI

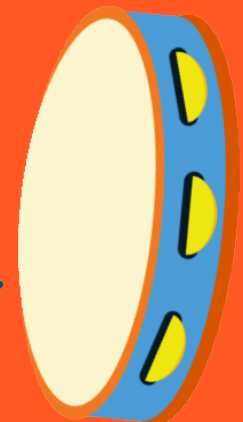
Music
Communication



大阪音楽大学

ミュージックコミュニケーション専攻

「音楽で人と地域をつなぐ」
をキーワードに学ぶ







照明

音響



オープンマイクパーク





銭湯でのコンサート





アイデアの内容

Bon Born Shonai

曲作りワークショップの方法

テーマに関するキーワードを市民から集めて歌詞として学生がまとめる
(テーマ例)

この庄内の街の自慢したいところ

庄内のこうなったらいいな

学校の好きなところ など

集まったキーワードを元に歌詞を作成

その場で合唱などなど♪



その具体的な活動として

- ・ 曲作りワークショップ
- ・ レコーディングした曲に合わせて振り付けを考える
- ・ SNSにアップ
- ・ その成果を夏祭りの盆踊り会場で発表
- ・ ゴールとして

Bon Born Shonai

なぜ盆踊りなのか？

- ・ 古来から地域の多世代のコミュニティが繋がるコンテンツとして各地で実践されてきた。
- ・ 情報社会の発達を経て、盆踊りも“多様化”。ルールに縛られず活用できるようになっている。

Bon Born Shonai

盆踊りの活用事例

- ・ 中野駅前大盆踊り大会：DJを中心に洋楽で盆踊りを楽しむ
- ・ 筋肉×盆踊り：筋肉紳士集団ALLOUTによるプロジェクト。
フィットネスを取り入れた盆踊りで楽しく身体を動かす。
- ・ アニソン×盆踊り：オタクカルチャーによる地域交流と発信

豊中で定着している盆踊り文化

豊中市の市民まつり「豊中まつり」では、「豊中音頭」「豊中盆唄」「豊中ワッシュヨイ音頭」など複数のオリジナル盆踊りが定着している。

⇒新しい盆踊りを大々的にお披露目できる環境が整っている。

⇒ただし後継者不足が問題



裏付けとしての取り組み

～清荒神駅ワークショップの開催～

- ・ 昨年12月、阪急電鉄清荒神駅で作詞・作曲ワークショップ
“音の改札口-言葉の切符を紡ごう-”を開催
 - ・ 地域住民から歌詞を募集し、作曲コースの音大生が即興で
「地域テーマソング」を作曲
- 地域住民はもちろん学生や観光客にも参加していただき、
世代や住む地域を超えた交流が生まれた



・阪急電車は昔のままでした
 ・そうすぐお正月 いつもお参りするのよ。
 ・みんなが知っている 台所の神様
 ・清荒神 足を運んでね～
 ・ベガホール前の メセコイア が素敵
 ・若い人に来てほしい
 ・火水土三つの宝 今のところいいところ
 ・清三宝荒神 布袋様
 ・長い龍の路 古い街が好き
 ・駅前の酸素BOXに入ったら
 ・元気になれたよ いかに
 ・新しいお店ができました。
 ・なかなかいいところ 紅葉
 ・ベガホール 新しい場所
 ・昼飲みできる場所が欲しい かた

(車内)
 ・阪急電車 昔のまゝ お参り
 ・台所の神様 清荒神 ベガホール
 ・メセコイア 若い人 来てね
 ・ホリミ 北川のゴロッケ
 ・酸素BOX 沢山の発見
 ・いいところ 色々なお店
 ・すぐしやす。

阪急電車から降りて 駅は昔のまま
 メセコイアも踊り出せば
 懐い場所 清荒神
 ベガホール 酸素BOX
 色々なお店 すてき街
 みんなが大好き 台所の神様
 紅葉が中々キレイなところ
 お参りできるからみんな来てほしい
 今日もいいところだね

出来上がった作品を聞いてみましょう！



清荒神ワークショップから見えた課題と改善点

- ・「作詞する」ということは一般市民にとって予想以上に敷居が高い。
- ・側から見ると何をしているのか分かりにくい。
- ・作詞、作曲、ミックス等の工程を一日で行った。

◎駅前で突然開催するにはハードルの高い企画だった。

→『盆 BORN 庄内』⇒地域コミュニティや行政との連携・余裕のあるスケジューリングで曲の制作過程をより顕在化。



アイデアの
内容

理由と背景

展開と目標

市の現状と課題

アイデアの展開 目標

1年目(7月～10月):歌詞づくりワークショップ



+



庄内コラボセンター内
各施設

●ファシリテーション/
ミュージック
コミュニケーション専攻

●作曲/
ミュージッククリエーション
専攻など

介護予防センター

ターゲット⇒ 高齢者

子育て支援センター

ターゲット⇒ 子育て世代の親

シヨコラ・カフェ

ターゲット⇒ いろいろな市民

1年目(11月):成果の発表

秋のショコラフェスタ（11月実施）で発表。

ショコラに特設ステージを設けて、「ショコラ盆踊り大会（仮）」
にてみんなで踊ってみる。



2年目：地域コミュニティへの展開



地域自治会



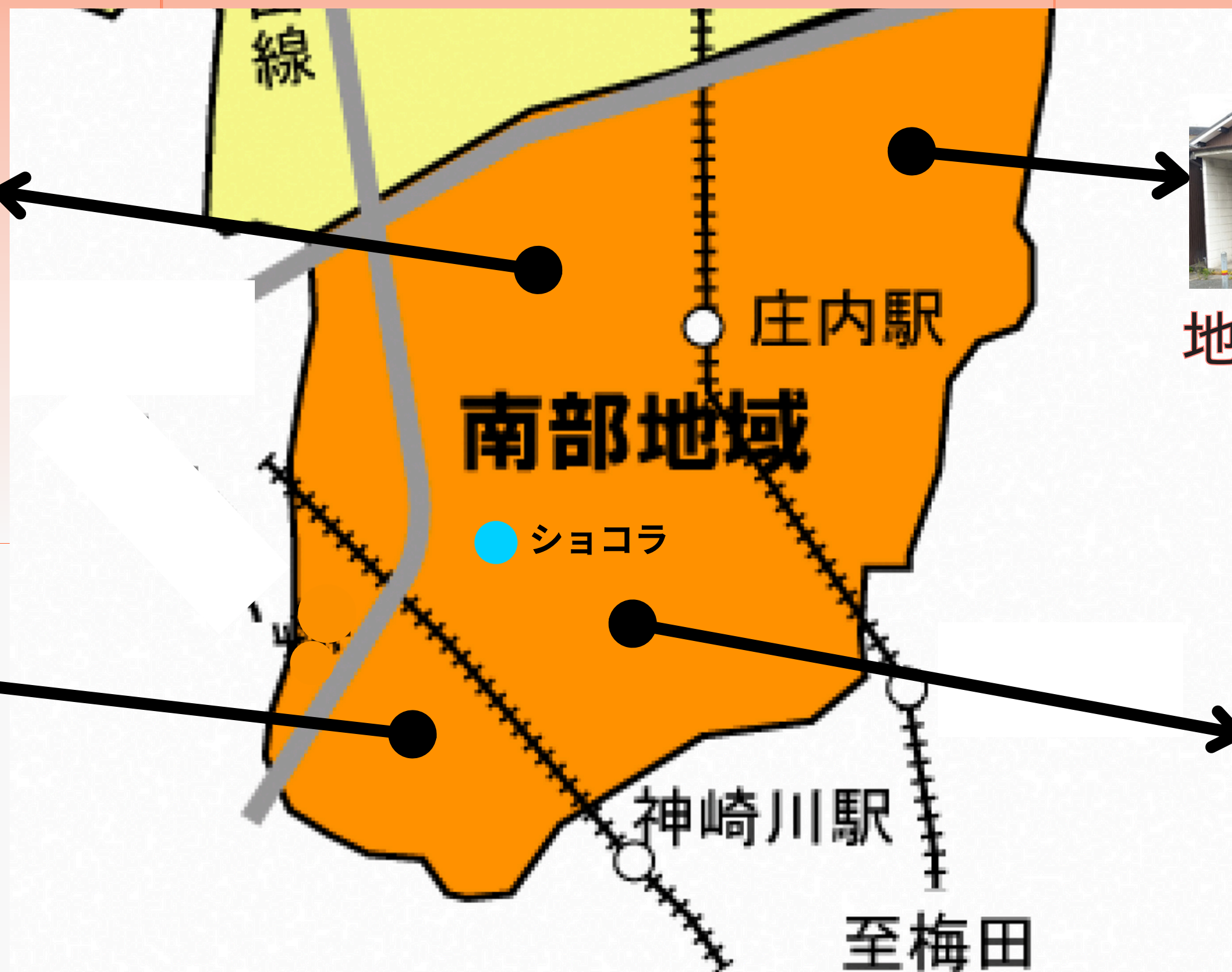
地域自治会



PTA組織など



こども会/こども園

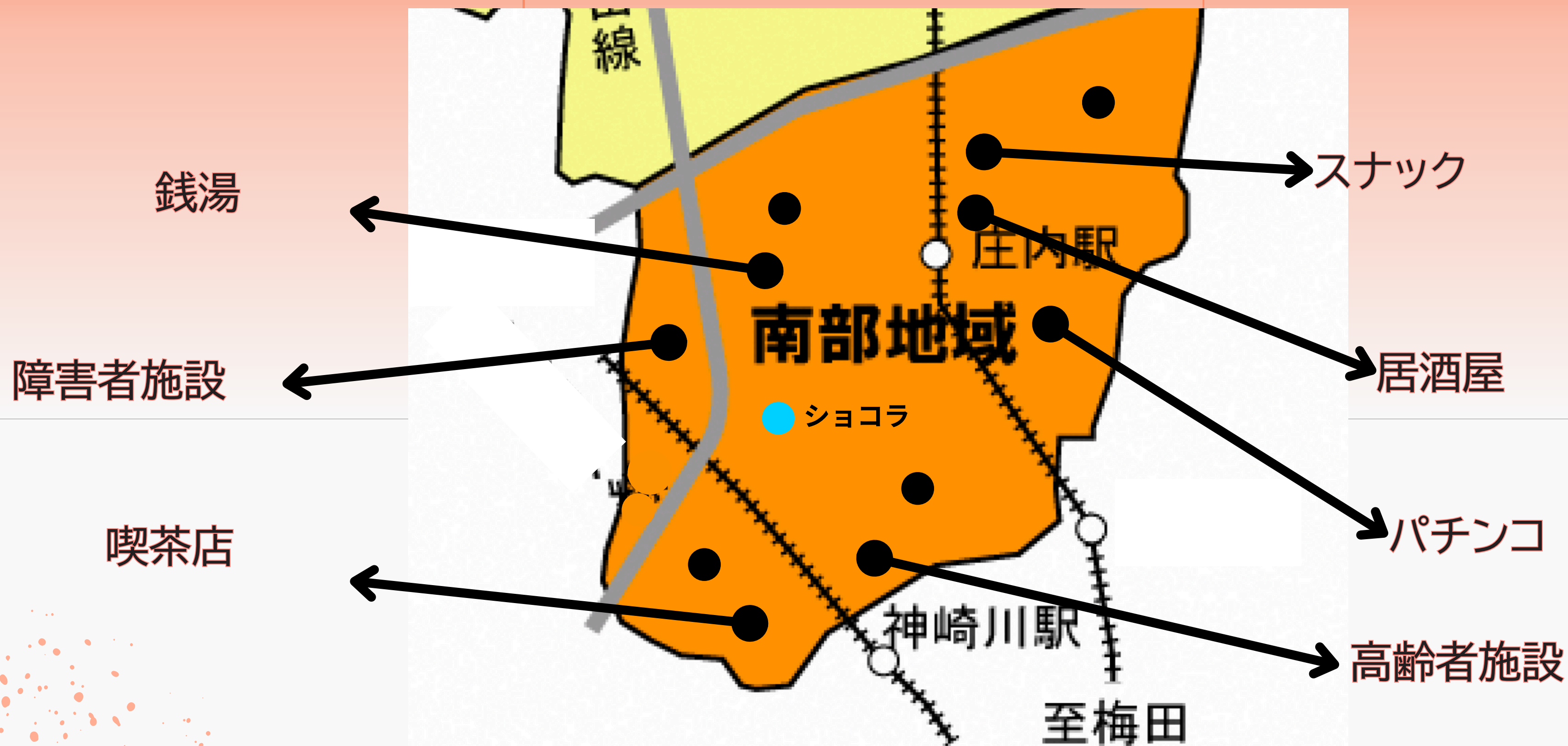


3年目：趣味や目的を持ったコミュニティ ーへの展開

庄内で例えば・・・

- ・ 飲み屋、スナック（またたび堂、スナック八重など）
 - ・ 風呂屋（五色湯、島田温泉など）
 - ・ ビリヤード場（ウィリー@庄内ちろりん村内）
 - ・ 高齢者介護施設（淳風とよなか）
 - ・ 障害者施設（コスモス豊中作業所）
- ・・・

3年目：趣味や目的をもったコミュニティへの展開



その後の流れ

シリーズ化して、様々なコミュニティでの地域の特色を聞くことができる。

そして・・・

大学生がワークショップをせずとも、市民が勝手に歌詞をつくって披露していければ！

世相や社会風刺から個人的悩みまでを唄いつなぐような・・・

予算

- ・ワークショップの会場費
- ・謝礼（作曲者、盆踊りの振付師）
- ・ノベルティグッズ代（ワークショップ参加者向け）

そのほか、音響/照明機材は音大のリソースを活用。

「やぐら」や「提灯」は地域リソースを活用

⇒実はそんなにお金がかからないかも！？

THANK You

豊中市南部地域の取組みについて

豊中市の紹介



人口／約40万人 <中核市>
面積／36.6 km²

豊中市への交通アクセス



大阪国際空港



阪急宝塚線 大阪モノレール
北大阪急行線



名神高速道路
中国縦貫自動車道など

豊中市にある大学



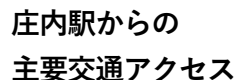
大阪大学 大阪音楽大学

抜群の広域 アクセスを誇ります

豊中市は、阪急電鉄や北大阪急行電鉄、大阪モノレールの鉄道網に加え、名神高速道路や中国縦貫自動車道、阪神高速道路などの幹線道路網が整備されているほか、空の玄関口・大阪国際空港も立地するなど、日常生活やビジネスのうえで、極めて高い交通利便性を誇ります。

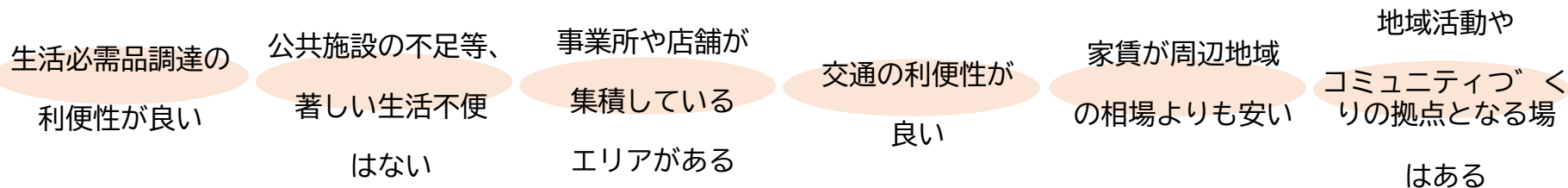


● 名神高速より以南が南部地域です



南部地域の特徴について

アイデアの内容 理由と背景 展開と目標 市の現状と課題



一見暮らしやすそう…



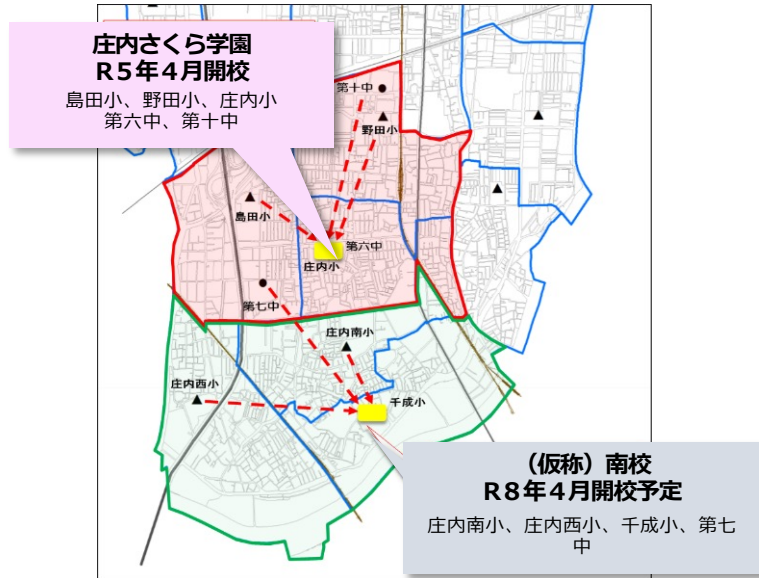
にも関わらず

人口減少と子育て世帯の転出が顕著

平成21年から平成30年までの人口の推移をみると、市全体の人口は増加傾向となっている
一方、南部地域の人口は減少傾向となっている。

20代は転入超過だが、0～9歳・30・40代が転出超過である。

南部地域の動き（義務教育学校2校の開校）



庄内さくら学園【右】と
庄内コラボセンター【左】の
外観

庄内コラボセンターの開設



アイデアの内容 理由と背景 展開と目標

市の現状と課題

庄内コラボセンター機能と施設構成

施設・機能整備

【既存施設】

老朽化し、散在する公共施設の複合化・多機能化

【新規機能】

地域課題の解決や地域ブランドの創造に資するもの

- 子育てしやすい環境づくり

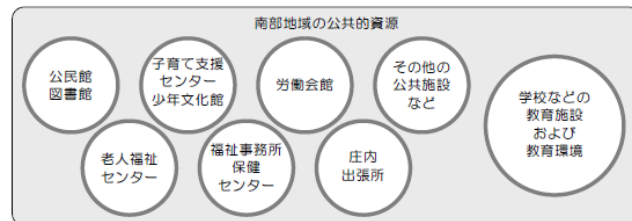
⇒ 子育て支援拠点

- 安定した就労への環境づくり

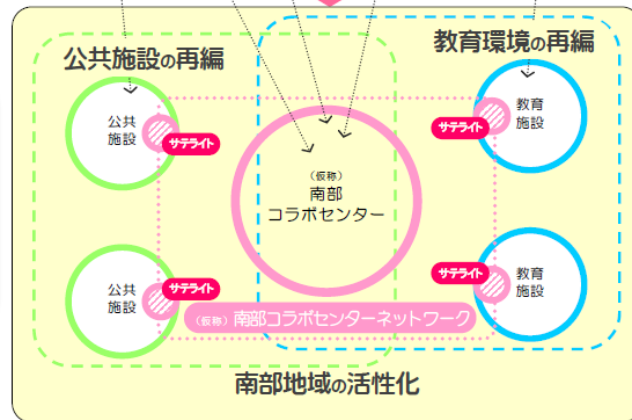
⇒ 就労・生活困窮者支援拠点（しごと・くらしセンター）

- 地域課題の解決や地域ブランド創造につながる市民活動推進の環境づくり

⇒ 市民活動・NPO活動支援拠点



子どもに夢を！ 地域に輝きを！
南部地域がまとまる、つながる、元気になる。



庄内コラボセンター ショコラ (R5年2月開設)



南部のリソースについて

ハード/ソフトのリソース

- ・ハード： 庄内コラボセンター ・義務教育学校（市民、こどもの集中）
廃校(旧校舎)の利活用
- ・ソフト： 市民団体や大学との連携事業の推進（「公民学連携事業」）
大学生（大阪音大）

盆踊りのリソース

- ・やぐら（旧自治会の資材を利用可能！）
- ・地域の盆踊りの振付師 ・着付師の存在
- ・市民からの「復活の声」（担い手の育成が課題）



南部地域活性化について

とってつけたような、他の地域にもある魅力を取り入れても、
その地域と他の要素での競争になり、その競争に負けると衰退していくだけ



“南部地域だからできる”

南部地域**だけ**の

強みを生かした魅力をつくることが大切

=**地域を知り、住民を知ること**